

経営比較分析表（令和3年度決算）

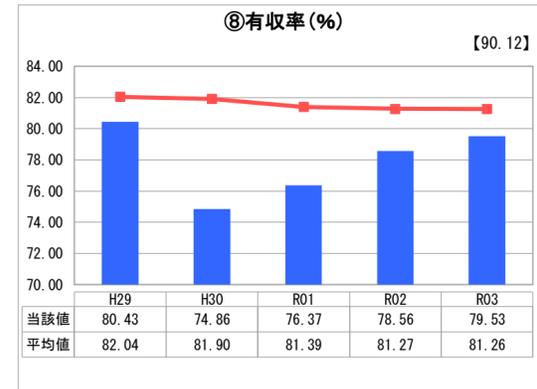
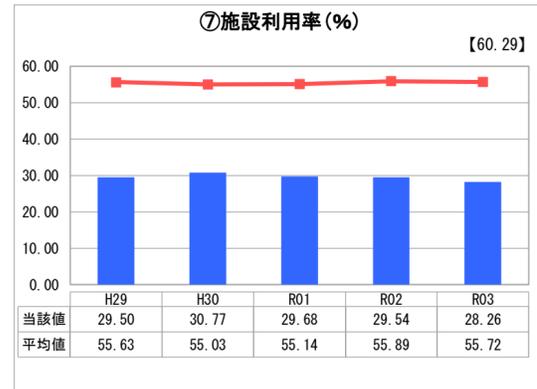
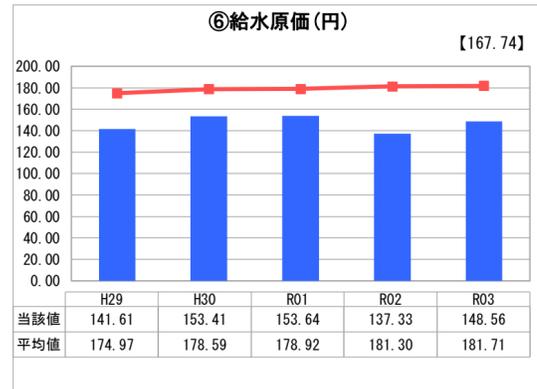
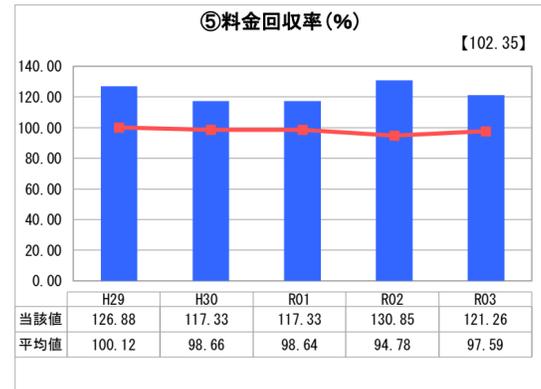
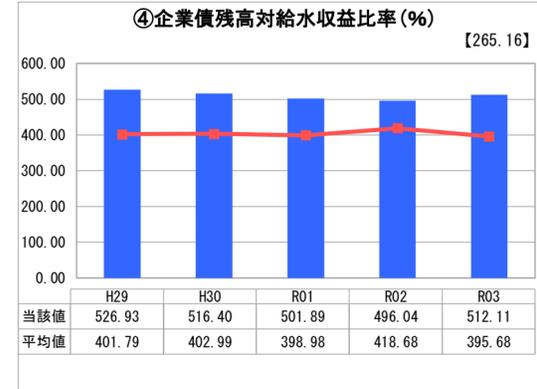
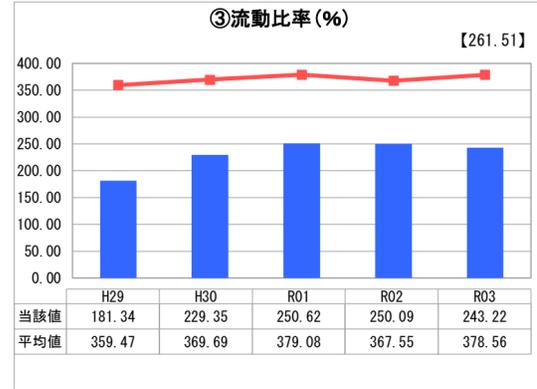
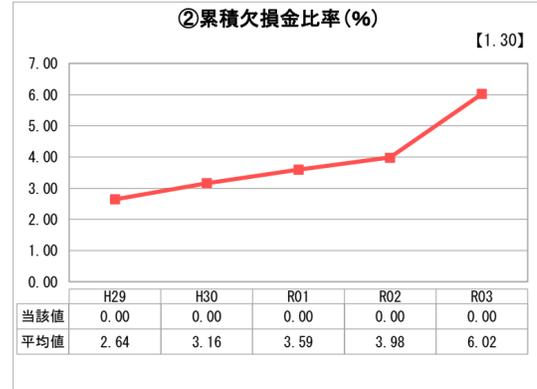
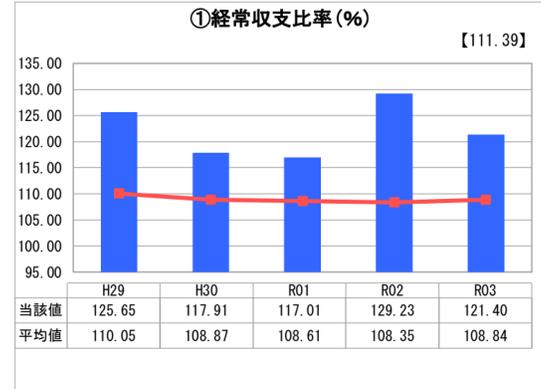
鳥取県 琴浦町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	64.02	91.48	3,585	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,714	139.97	119.41
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
15,157	13.42	1,129.43

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率: 100%を超え、黒字を維持している。前年度と比較して減少しているが、これは前年度、大雪や寒波の影響で一時的に給水収益が増加していたこと、費用の増加によるものである。

② 累積欠損金比率: 累積欠損金は発生していない。

③ 流動比率: 240%を超えており、短期的債務に対する支払能力は確保している。

④ 企業債残高対給水収益比率: 類似団体と比較して高い傾向にある。給水収益が減少していく中、計画的に借入を行っていく必要がある。

⑤ 料金回収率: 前年度と比較して減少しているものの、120%を超えており、給水に係る費用は給水収益で賄えている。

⑥ 給水原価: 類似団体と比較して低い状況となっている。費用の増加と有収水量の減少により、前年度より上昇した。

⑦ 施設利用率: 例年同様、類似団体と比較して大きく下回っている。施設更新と併せて、統廃合やダウンサイジングを検討していく必要がある。

⑧ 有収率: 改善しているものの、類似団体を大きく下回っている。引き続き有収率の向上に努めていく。

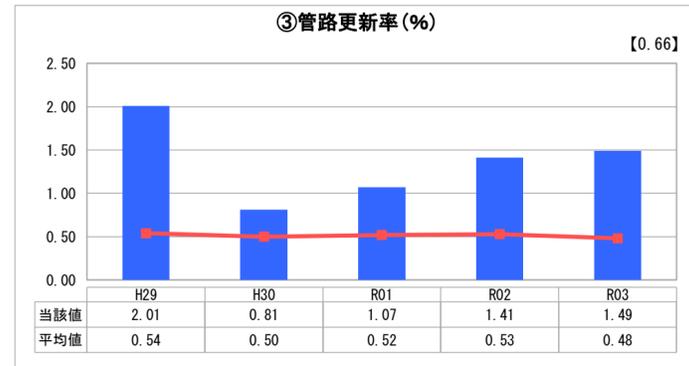
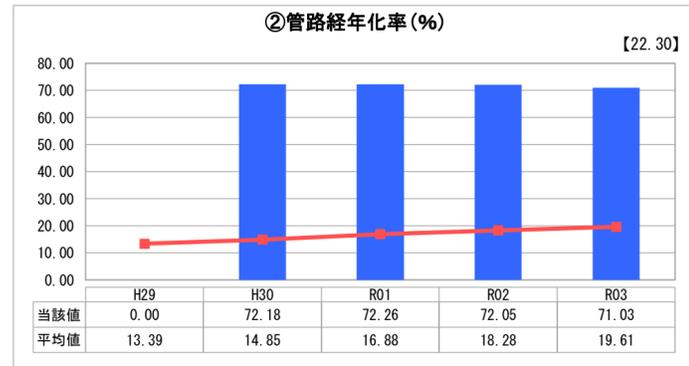
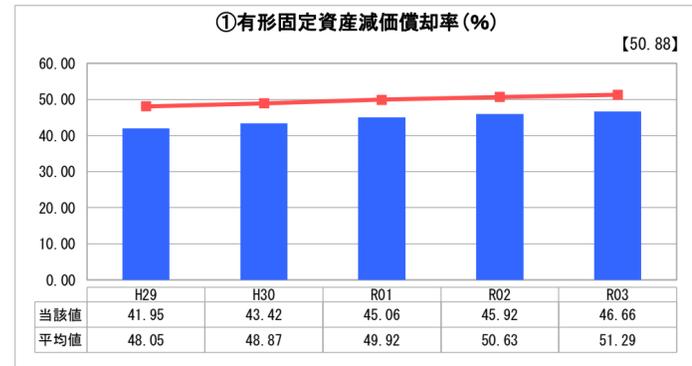
2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率: 類似団体と比較して低いものの、増加傾向にあり、老朽化が進んでいる。

② 管路経年化率: 法定耐用年数を経過した管路がかなり多く、類似団体と比較して非常に高い状況となっている。

③ 管路更新率: 計画的な更新を行っており、類似団体と比較して高くなっている。今後も資金との調整を図りながら、計画的に更新を進めていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

現状では経営成績に大きな問題は無いと言える。しかし、給水収益の減少が見込まれる中、多くの老朽化施設の更新を行っていく必要があり、今後は厳しい経営状況となっていくことが予想される。

また、今後、町内にある専用水道等について、地元の意向を確認し、町水道への編入を行っていく予定である。編入となった場合の経営への影響や、水道ビジョンの見直しについても検討していく必要がある。